

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
	三橋中は築50年以上で古い。体育館も古く、コンクリートの上に床が張られているような状態で、競技に使う用具を入れる場所がない。改修のみで対応するのか？	確かに三橋中は古く、窓枠が木枠であるなど現状は把握している。現時点の方針としては、再編後の学校を全て新規に整備するのは不可能であるため、まずは既存施設を改修して有効活用しながら再編し、統合により学校数が少なくなった後に、新設校に継続して集中的に資金を投じていきたいと考えている。また、計画に基づいて取り組みを進めなければ、国庫補助がつかないという理由もある。まずは、開校に合わせて既存設備を改修し、将来的には大規模な改築等も視野に入れて検討していく。
1	三橋中への入口は、信号のない丁字路である。小学生が通行するとなれば、現状の道路環境では安全が確保できない。以前、警察に信号を移せないか確認したが、近くに信号があるからできないと言われた。旧443号線は、小学生だけでなく中高生も通学に使う。事故などは想定しているか？	事故の想定というよりも、子どもの安全を確保する必要があることは当然認識しており、警察および道路管理者と協議のうえ、対応を検討していく。通学方法や、スクールバスにどの程度の人数を乗せるのかなど含めて安全に通学できるように、準備を進めたい。
	スクールバスを導入するということだが、三橋中には離合する場所がない。現状、中学生が部活動などでバスを用いることもあるが、離合する場所、Uターンする場所が狭い。ここ10年間でも3、4件の事故が起こっている。まずは、安全に通学できる環境を整備してから再編した方が良くはないか？	確かにバスを導入することで、学校がこれまで設備上想定していなかったような状況が起こる可能性があるため、開校までの準備期間に対応していきたいと考えている。例えば、学校内にバスが乗り入れる場所や駐車場などを設けること等である。ただし、周辺道路等については、教育委員会だけでは解決できない課題のため、再編を機に整備してもらうよう警察や道路管理者に働きかけていきたい。
	中学校の前に信号を移せないのは、通行する人数が少ないことが理由だと警察から言われた。しっかり要望を行って欲しい。	小学生が多数通行することになるので、安全確保のためにも強く要望していく。
2	質問ではなく要望である。三橋中の改修の際、ベランダからの転落防止策を講じて欲しい。	小学生が使用することを念頭において、施設の改修等を進めていく。
3	中学校について、適正配置は4km以内とのことだが、最も遠いニッ河小から豊原小までの距離が5.1km程である。それでも中学生は、徒歩または自転車での通学となるのか？	現時点では、中学生の通学は徒歩または自転車と考えている。

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
	<p>校区がとても広くなることから、まずは、中学生が通うにあたり安全な通学路が示されなければ、保護者や地域の方の見守り活動をどこで行うのかを考える土台がない。また、PTAで協議する場合、大和中校区と三橋中校区では地域性が違い、やり方も違う。まとめ役の負担が大きくなるが、それについてどうお考えか？</p>	<p>まずは、学校による旗振り、先導が必要になるかと思う。逆にお願ひする形になるが、地域の方、保護者の方におかれては、これまで同様に新しい学校を支えて欲しい。その活動の中で、各組織での連携を図っていただくのが望ましい形だと思っている。そのための呼びかけは教育委員会や学校からも行い、必要な場合は統合を支援したいと考えている。</p>
3 つづき	<p>学校再編の教育面でのメリットはわかったが、デメリットとしては何が挙げられるか？</p> <p>現在、不登校の児童生徒への対応は学校がしていると思う。現状でもスクールカウンセラーや特別支援学級の支援員がいるが、連携が取れていない。統合後、教職員の負担が増えれば、不登校児への対応が後退しないか心配である。教職員を余分に配置するのは難しいと思うが、専門家を配置するなど検討し改善していただきたい。</p>	<p>校区が広がることで保護者や教職員の負担に繋がる懸念はある。しかし教育面においては、子どもたちへのメリットが大きいと考えている。</p> <p>不登校の児童生徒に対しては、学校規模を適正化した方がより手厚い対応が可能だと思われる。1学年1学級で1人の先生が学年を担当する形よりも、1学年3学級で学年に3人の先生がいる方が、多様性を持った対応が可能となり、子どもたちにとってメリットとなる。先生側から見ると、子どもたちにチームで対応できるようになり、また、校務や学校運営の負担が軽減できるので、より子どもたちに向き合うことができるようになると考えている。現在、小学校には若手の先生が多く、小規模校では一人で学年運営を行わなければならないが、適正規模校になり、複数の先生が配置されるようになれば、若手からベテランまでバランスよく配置できるようになる。</p>
4	<p>部活動を理由に違う校区の中学校に行くことは可能なのか？</p> <p>学校の規模が大きくなれば、登校する人数も当然増える。この地区は歩道のない道路が多く、例えば、統合中学校に向かう途中にある徳益駅付近には歩道も信号もない。道路をすぐに変更するのは難しいということだが、きちんとした動線作りをお願いしたい。</p>	<p>現状では、自分の校区の学校にやりたい部活がなく、隣接校にはその部活があるという場合には指定校の変更を許可している。しかし、例えば、昭代中に剣道部がないからという理由で、三橋中に行けるかと言えば、隣接する柳城中に剣道部があるため認められない。この方針は統合後も継続する予定である。</p> <p>子どもたちの通学路の動線作りについては、今後きちんと対応したい。現状でも年に1回、通学路安全協議会を開き、小学校から挙げていただいた危険箇所の現地確認、対応の検討を行っている。まずは、人数が増える学校周辺の通学路を重点的に整備しなくてはならないと考えている。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
4 つづき	垂見小や藤吉小は耐震化の関係か校舎が新しくなっている。先を見通しが不十分なことにより、無駄になっていないか？施設整備に関連して、今回の統合後、更なる再編もあと考えているのかお伺いしたい。	校舎については、ご指摘の通り耐震化が必要となり、市内の全ての学校で耐震補強工事を完了している。垂見小と他数校は新しいが、その他の学校は雨漏り対策と外壁塗装で乗り切っている状況であり、あわせてトイレの洋式化も進めてきたところ。早く統合すべきだったという意見はごもっともだと思うが、前回の検討委員会の答申で10年間は現状のままという結論となったことが背景にある。また、廃校後の施設の活用方針は白紙であるため、活用可能な学校施設は別の目的で利用する等、可能な限り無駄にならないようにしたい。将来的には、今回の統合により20年、30年先までは学校規模が維持できると予測しているが、状況が変化する可能性が全くないとはいえない。
5	通学路の安全対策等を考えると、5年後に統合中の開校は難しいのではないかと？ 現場を見ずに、机上で決めた計画となっていないか？校長先生たちも急に話が出たと言っていた。学校や地域を置き去りにしないような方法を考えていただきたい。	確かにタイトなスケジュールとなっている。大和中と三橋中の統合中に関しては、用地買収は計画策定後に取り組むという状況にあり、調整できない場合でもどこかに場所を確保する必要がある。計画に沿って実行できるよう努めたい。
6	2年程前に引っ越してきたが、この話を今年の前めに聞いて驚いた。10年前に決まっていたのであれば、その間の情報共有をしっかりと行って欲しかった。今後は都度つどに情報を開示して欲しい。	今回の再編計画が10年前に決まっていたわけではない。今回の再編計画が動き出し、この案を公表したのはつい最近であり、寝耳に水という方も多かったと思う。その点についてはお詫び申し上げます。今後の情報共有については、再編協議会(仮称)を作る際に代表者を決める必要があるため、学校を通じて保護者等へ周知する予定である。また、旧大和町地区を最初として、他の地域の再編が進む中で、どのようなことを決めているのかについて「再編協議会だより」という形で周知することを考えている。各公民館への配布や公式Webサイトでの公表を検討しているので、是非ご覧いただければと思う。
7	10年前に有識者に時期尚早と言われて当時引き下がっているが、見通しが甘い。今回の検討委員会でも、「今後の学校はどうあるべきでしょうか。」などと聞いている。検討委員に対し文句をつけるべきだろう。まず意見だが、地域の様々な意見を吸い上げる仕組みを作るべきである。また公民館活動等はこれまで通りと言うが、統合に際しては地域に全て任せるのではなく、教育委員会で筋道を立てて助言をしていただきたい。	当時の検討委員会と今回の検討委員会では、変更になったメンバーもいる。当時の記録等を見る限り、突っ込んだ議論が行われ、かなり白熱したようである。この時は、学校の組み合わせ案などをお示しして検討していただいたために、賛成反対の対立した議論になってしまったのではないかと推測される。そのため、今回は具体案を示さず、方向性の検討をお願いした結果、学校再編が必要という結論になった次第である。

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
	統合により先生たちが増えると、子どもへの対応が今より良くなるというが、大事なものは頭数ではなく質である。また、子ども的人数が多い方が社会性、協調性や学力が付くというのは本当か疑問である。例えば、藤吉小は児童数が多いが、そんなに社会性、協調性や学力が付いているのか？	確かに、学校の規模の大小が、学力や協調性・社会性の獲得に直接結びついていると一概には言えない。それぞれの学校で、学力や社会性・協調性等に違いがないわけではないが、その向上のために大切なのは、仰るとおり指導側の質だと考えている。近年の教師に求められる内容は多岐に渡り、負担が大きい。これを改善するためには、職員集団の規模を確保し、組織で対応することが必要である。これにより、学校全体としての指導力を上げ、教育内容の充実を図りたい。誰が担任になってもある一定の指導が行われるようにするためには、職員が組織的に子どもの指導を行えるよう適正規模の学校を作ることが必要である。ひいては、市内のどの学校に行っても大丈夫だと思われるような教育環境を作っていきたい。
7 つづき	加えて災害時の対応についてだが、子どもたちを帰す際の想定をされているか？今でも雨が降った際など多くの送迎車両が停まっているのを見る。	災害時の対応については、平時から引き渡し訓練等を行っている。非常時には学校内に車が乗り入れる動線を確保することになると思われる。統合後を十分想定し、準備を進めたい。
	登下校時のバスについても、低学年と高学年では帰りの時間のずれがある。また、1台に乗り切れない子どもたちが待機している間は面倒を見る必要がある。さらに、乗り遅れた子がいらないかの確認業務等、様々な課題が出てくる。あらゆる場面を想定して再編に備えて欲しい。	バスの運行方法等に関する課題は仰るとおりである。低学年と高学年で終業時間が違う件について、参考にしているみやま市の桜舞館小学校の場合は、低学年の下校時間を高学年と合わせる調整を行っているとのこと。スムーズな運行ができるよう、再編協議会(仮称)の中で十分説明をしながら、詳細を決めていきたい。
	最後に、これまでの説明会で出た主な意見を教えてください。	他地区での意見については、多岐に渡り様々である。人口を増やすべきという意見、ある程度規模を維持できている学校は統合しなくてよいという意見、小規模校のままでよいという意見が出ている。学校が遠くなることへの不安に関する意見も多い。地域組織と学校との関わりについて、統合して欲しいとの意見もあるが、これについては強制する事柄ではないと考えており、もし地域内で統合したいという気運が高まった場合には支援したいと考えている。

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
7 つづき	再編後、子どもたちのどんな声を聞きたいかお伺いしたい。ある学校では統合された当初、勢力争いがあったとのこと。統合から1ヶ月、半年、1年後までのシミュレーションをしておくことが大事。最後に再編について、ハード面での良いところ、教育課程の良いところを並列に話されると混乱する。質問の答え方について一言言わせていただいた。よろしくお願ひしたい。	<p>(首席指導官)再編に伴い勢力争いの可能性があるというお話について、子どもたちはいずれ社会という大きな集団の中で生きることになる。発達段階に応じて、多様な価値観を持った集団の中で多くの価値観に触れながら、時にぶつかり合うこともあるかもしれないが、お互いに認め合う経験を持つことは、社会性を身につける上で大切であると考えている。</p> <p>(学校教育課長)学校は楽しい場所であってほしいと考えており、子どもたちに、友達や先生がいっぱいいて楽しい、行事がいっぱいあって楽しいと言ってもらえるような学校にしたい。学力を身に付けることも重要であるが、まずは子どもたちが行きたいと思ひ、保護者の方が安心して通わせることができるような学校にすることが重要である。統合後の懸念についてだが、計画が確定し次第、統合前の段階から事前交流の取り組みを行いたいと考えている。再編前から顔見知りや友達を作ること、再編を楽しみに思ってもらえる状態に繋がれば幸いである。また、質問の答え方については私へのご忠言かと思う。ありがたく受け止めさせていただく。ハード面については、具体的な部分は未定であり、方針としてはまず改修により統合校の開校準備を行い、開校後も継続的に資金を投じたい。そのための資金確保に努めなければならないと考えている。</p>
8	限られた財源を有効に使う考え方で安心した。再編スケジュールについては、どの自治体も10年で取り組んでいるのか？また、この取り組みは10年間で絶対にやりきるのか、それとも大災害等やむを得ない理由が発生した場合は延長も考えられるのか？見切り発車的な進め方はして欲しくない。	まず、他の自治体のどこも10年計画なのかという話だが、最初に全体計画を示す自治体、10年ごとに個別計画を示す自治体もある。私共としては、答申で示された10年間という期間を尊重し、まずはそれに沿う全体計画を立てたところである。では、何があっても10年で完了させるのかということだが、協議がまとまらない場合、協議を打ち切る等して拙速に進めるのではなく、更に期間を設けたい。しかし、1段階目が1年ずれたからと全体計画を11年に延ばすということではなく、極力スケジュールに沿って取り組みを進めたいと考えている。よろしくお願ひしたい。
9	議会だよりにおいて、課長は「見直しの必要があれば見直しを行いたい」と発言している。私も計画には柔軟を持たせた方がよいと思ひ。そこを詳しく説明した方が市民の理解が得やすいのではないか。	今後の流れについてであるが、現在、全41回の説明会で説明しているのは再編計画(案)であり、全て同じ案を説明して回っている。この説明会が終了した後に、41回の説明会でいただいた意見を集約検討し、案を見直す可能性はある。見直しの可能性があるというのは、この部分についての話である。その後、パブリックコメントを行い、再度意見を募る。これをまた集約検討し、最終計画を策定する。決定した最終計画を進めるにあたっては、極力スケジュールに沿って行いたいという趣旨での発言である。

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
10	校区公民館の主事をしている。現在、家庭・学校・地域で連携して子どもたちを育てることを主眼に活動している。統合後は、1つの学校に対して現在の複数校区から子どもたちが集まる。社会教育の面ではどうなるのか、方向性をお示ししていただけたらと思う。意見である。検討をお願いしたい。	同様のご意見は他の校区からもいただいている。現在、各公民館と総務課で進めている、既存の小学校区を単位とした校区コミュニティづくりについては、今後もこれまでどおり進めていきたいと考えている。その中で、旧校区の子どもたちを巻き込んだ活動を行いながら、場合によっては隣接する旧校区の子どもたちの参加も視野に入れて、活発化させていけたらという思いを持っている。
11	現在、公民館行事は学校行事の一環という位置づけではないと思うが、今のご回答は、今後は公民館行事においても学校の協力を得られるということか？	今申し上げたのは、あくまでも公民館活動のことであり、校区が広がっても、現在と同様の校区で、取り組みを進めていただけたらという趣旨である。現在も、地域の構成員という立場で学校の先生等が自主的に参加しているところである。
	公民館行事は学校行事ではないからという理由で、これまで学校に協力していただけなかったが、学校再編を機に協力してもらいたいような仕組みを作ることは可能か？これまでいくつかの小学校に行ったが全て断られた。地域と学校が連携するのであれば、協力できるのではないか？	公民館には、地域の子どものために様々な行事を催していただいている。主体は公民館ではあるが、参加する子どもたちは学校の児童でもあるので、可能な範囲での協力はしていきべきだと考えている。例えば、学校から積極的な参加を呼びかけることは可能である。
	これまで私が学校側に伝えてきたのは、地域での子どもの姿と学校での子どもの姿は違う。学校外で活躍している姿を先生にも見て欲しいということ。子どもたちは表彰されると嬉しいので、公民館行事で活躍した子の名前も呼んで欲しいが、始業式ではその時間が取れないと言われる。今後の検討をお願いしたい。	同じ子どもを学校と地域の双方で育てている共通認識を持つべきだと考えている。もしこれまでの学校の取り組みで不十分なところがあったのであれば、校長会等で話をしていきたい。